

理由別長期欠席者数 (小学校・中学校)

長期欠席者数は
小学校、中学校ともに減少

小学校

平成20年度間の30日以上長期欠席者数は、平成19年度間より10人(2.6%)減少の379人であった。全児童数(平成20年度児童数 61,135人)に占める長期欠席者の比率は、全国(0.78%)より0.16ポイント低い0.62%で、低い順に全国第13位(前年度第10位)であった。

理由別では「不登校」が207人(構成比54.6%)で最も多く、次いで、「病気」が97人(同25.6%)、「その他」が74人(同19.5%)、「経済的理由」が1人(同0.3%)となっている。

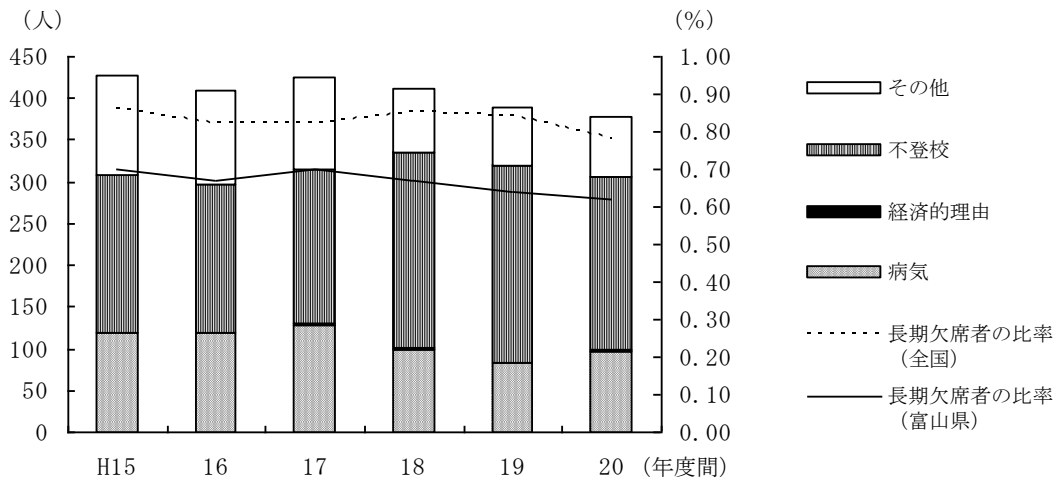
なお、全児童数に占める不登校の比率は、全国(0.32%)より0.02ポイント高い0.34%で、低い順に全国第28位(前年度第34位)であった。

表17 理由別長期欠席者数 (単位:人)

年度間	30日以上				
	計	病 気	経済的 理 由	不登校	その他 *
平成15	427	119	1	188	119
16	410	119	—	178	113
17	426	129	1	184	112
18	411	99	3	233	76
19	389	83	1	236	69
20	379	97	1	207	74

*「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図9 理由別長期欠席者数の推移(30日以上)



中学校

平成 20 年度間の 30 日以上長期欠席者数は、平成 19 年度間より 6 人(0.6%)減少の 946 人であった。全生徒数(平成 20 年度生徒数 30,443 人)に占める長期欠席者の比率は、全国(3.78%)より 0.67 ポイント低い 3.11%で、低い順に全国第 9 位(前年度第 8 位)であった。

理由別では「不登校」が 733 人(構成比 77.5%)で最も多く、次いで「その他」が 105 人(同 11.1%)、「病気」が 104 人(同 11.0%)となっている。

なお、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国(2.89%)より 0.48 ポイント低い 2.41%で、低い順に全国第 5 位(前年度第 20 位)であった。

表 18 理由別長期欠席者数 (単位：人)

年度間	30 日 以 上				
	計	病 気	経済的 理 由	不登校	その他*
15	922	57	-	805	60
16	836	55	-	736	45
17	885	73	-	767	45
18	914	79	-	802	33
19	952	64	-	858	30
20	946	104	4	733	105

*「その他」には、「欠席理由が 2 つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図 10 理由別長期欠席者数の推移(30日以上)

